

朝日新聞社、AI不正検知ソリューション「Verify」をはじめとする

SAP Concurソリューションを採用

～AI不正検知と自動化基盤で、経費精算業務の高度化を推進～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橋本 祥生、以下 コンカー）は、株式会社朝日新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：角田 克、以下 朝日新聞社）が、経費精算業務のさらなる高度化を目的として、AI不正検知ソリューション「Verify」をはじめとする複数のソリューションを採用したことを発表いたします。

■背景

朝日新聞社はこれまで、間接費管理基盤としてSAP Concurを活用し、間接費領域における業務効率化およびガバナンス強化に取り組んできました。現在は、経費精算業務をワンプラットフォームで統合し、自動化・標準化をさらに推進することで、社員がより付加価値の高い業務へ注力できる環境づくりを目指しています。

■概要

こうした取り組みの一環として、AI不正検知ソリューション「Verify」、交通系ICカードとの自動連携を実現する「ICCI (IC Card Integration)」、デジタルアダプション・プラットフォーム「WalkMe Premium for SAP Concur Solutions」を採用しました。

■採用ソリューション

・AI不正検知ソリューション「Verify」

重複申請などこれまで検知が難しかった不正リスクをAIが自動検知

・交通系ICカードの自動連携「ICCI (IC Card Integration)」

交通費データを自動で取り込み、入力作業を削減

・デジタルアダプション・プラットフォーム「WalkMe Premium for SAP Concur Solutions」

申請操作をユーザーにガイドし、業務定着を促進

これらに加え、法人カード連携との組み合わせにより、経費申請プロセスの自動化が可能になります。

■期待される効果

各ソリューションの主な導入効果		
経費申請者の負担軽減  ICCI・WalkMe・法人カード連携により、申請作業の自動化が実現 入力・確認の手間が大幅に削減	リスク管理の高度化・ガバナンス強化  最新AIソリューションのVerifyにより 従来は発見が難しかった偽造領収書等 も逃さず検知	承認工数の大幅削減  申請段階で誤りや不正を未然に防ぐ仕組みを実現 承認者の負担を最小限に

各ソリューションは 2026 年 3 月より順次、従業員約 3,000 名を対象に利用開始予定です。

コンカーは今後もサービスの拡充を通じて日本企業の競争力強化、業務改革を支援します。

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010 年 10 月に設立されました。

『Concur Expense (経費精算・経費管理)』・『Concur Travel (出張管理)』・『Concur Invoice (請求書管理)』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。

SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または SAP Concur ブログをご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

© 2025 SAP SE または SAP 関連会社。無断複写・転載を禁じます。この資料に関する使用条件、免責条項、開示、または制限については、www.sap.com/legal-notice の法的通知を参照してください。